



## 真生会白百合ベビーホーム便り 明るく、楽しく、元気よく

夏休みには、白百合ベビーホームを旅だった子どもたちが、顔を見せてくれる機会が増えます。もちろん、必ずしも全員が順風満帆とは言えません。大人が気遣って、連絡を取ってくれたケースもありました。子どもの記憶を断ち切らない配慮について、大人たちの理解が浸透してきていることは、大変ありがたいことです。どんな形であれ、子どもたちを応援させていただきたいと思っています。

社会福祉法人真生会 白百合ベビーホーム 理事長/院長 青木紀久代



今年もご近所の方より立派な笹を頂戴し、玄関にみんなを出迎えるにふさわしい立派な笹飾りを作ることができました。  
お外へ遊びに出かける時に風に吹かれた飾りに手を伸ばす子どもたち。  
お部屋でもそれぞれに想いを込めた製作や願い事を書いた短冊を作りました。



当日には、お部屋ごとにたなばたさまのお歌を歌い、劇や絵本の時間を楽しんで七夕の日を過ごしました。この日のごはんは七夕特別メニュー。  
お昼には、七夕をイメージした星型の野菜が入ったカレー。おやつには、星空をイメージした青いゼリーの上にお星さまのフルーツが並び、美味しく楽しくいただきました。



笹や竹は、真っすぐに育ち、生命力が強いので、昔の言い伝えで神聖な力が宿ると考えられていたそうです。七夕飾りを吊るすことで、子どもたちが健やかに成長できるように祈りを込めます。  
今年もみんなの願いが届いていますように★



## 7月 各ユニットの様子

### 【たんぽぽ・すずらん】

ユニットで小さな「七夕の会」をしました。  
たなばたさまを歌って、織姫と彦星のお話を聞いて、ちゃーちゃんが書いてくれた願い事を順番に読み上げてもらうと、とても嬉しそうに短冊を受け取る子どもたち。みんなで笹に飾りました。短冊は和紙を折ったものを自分で絵具で染めたもの。  
涼し気に風に揺れて、きっとお星さまに願いが届いたことでしょう。



### 【ひまわり・なのはな】

毎日暑い日が続きますが、子どもたちは元気いっぱいです。子どもたちが大好きな水遊びが始まりました。たらいや、バケツの中に入ったりと、水遊びを楽しみながら涼をとっています。そしてなぜか、プールの中のお水を外に出すことが大好きな子どもたち。あっという間に、プールのお水が無くなってしまったのでした。幼稚園から持って帰ってきた「ひまわり」です。愛情たっぷりの水やりのおかげで綺麗に咲いていました。



### 【あさがお・すみれ】

月間の遊びのテーマが感触遊び・色遊びということで、色々な素材を使って製作遊びをしました。ある日はお庭で段ボールにダイナミックに絵の具を塗り、お片付けまでを遊びの中で楽しみながら行いました。また、食紅で着色した春雨で遊んだ際は、不思議そうに手に取ってみたり、容器を移し替えたり、色が混ざる様子を楽しみました。



### 【もも・あんず】

七夕の日。みんなで甚平を着て、玄関にある大きな笹を見に行きました。笹を見つけると一目散で駆け寄る子、自分のシンボルマークを見つけて喜ぶ子、歌を歌うと身体全体でリズムを取り「もういっぱい」とリクエストする子。みんなの願い事が叶いますように！畑に実ったナスを収穫に行きました。コンビカーで畑に向かい、それぞれ一つずつ手にすることが出来てみんなは大満足。お部屋に帰ってからは夕ご飯で食べたり、絵の具を付けてスタンプにして楽しみました。





# リトミック

リトミックは音楽に合わせて頭と体を一緒に使って行うプログラムです。色の概念や音階などのプログラムを取り入れてくださるほか、パラバルーンやフラフープのプログラムを参考にベビーホームの運動会にも取り入れており、養育者にとっての学びの場にもなっています。

## プログラムの様子



6月に行ったクレヨン列車では、子どもたちが好きな色のクレヨンを持ち、ぐるぐると細長く置いたテーブルの周りを音楽の速さに合わせて「普通」「特急」と歩くスピードを変えて列車になりきっていました。クレヨンの色の交換で電車の乗り換えをします。途中で立ち止まる子もいましたが、最後にはカラフルな列車ができていました。

他にも、カラフルなポンポンを使って同じ色の物を見つける（例えば赤ならポスト・りんご、青なら空・信号など）プログラムやマラカスやタンバリンを使ってリズム（速く、遅く、大きく、小さくなど）遊びを取り入れてくれています。また、養育者と一緒に大きくジャンプをしたり飛行機をしたりと、音楽の中で体を動かして楽しめるプログラムとなっています。

## 白百合のエッセイ

職員から「白百合で働くこと・やりがいを感じる事」についてお話いただくコーナーです。今年度3回予定しています。

第一弾は、養育部門よりたんぽぽユニットリーダーの保育士 武井さんです。



子どもの頃から赤ちゃんが好きな私が、実習先だった白百合ベビーホームに入職して数十年が経ちます。一番初めに受け持った担当児、新生児から受け持った担当児、関わりが難しかった担当児、四年間受け持った担当児などたくさん子どもたちと出会い、色々な思い出があります。

様々な経験を経て今私が思う仕事のやりがいは、子どもたちとの関わりです。担当児はもちろんですが、ユニットの子どもたちや退所した担当児等、すべての関わりが私の力の源になっています。

アフターフォローで、退所した子どもの様子を知ることも大きな楽しみの一つです。

退所先は家庭、里親、児童養護施設と様々ですが、乳児院を巣立って成長していく子どもたちの姿に喜びを感じ、仕事を続ける力をもらっています。今まで出会った子どもたちとの思い出と、これから出会う子どもたちを大切にしながら、乳児院の保育士として、これからも日々学んでいきたいと思っています。

## 防災トピックス



防災委員会では、毎月防災訓練を実施しています。繰り返しの訓練により、防災頭巾をかぶる事にも慣れ、多くの子どもたちが落ち着いて避難訓練に参加しています。

その他にも、炊き出し訓練や地域の消防署ご協力の下、救急法を学ぶ機会も設けています。また、親子のひろば事業の訓練にも参加させていただき、地域の方との交流の場にもなっています。今後も「もしもの時」に備え、落ち着いて行動できるように日々取り組んでいます。



## 8月の予定

- 5日 ダンスプログラム
- 7日 合同防災訓練
- 13日 リトミック
- 16日 おはなしの会
- 21日 コンサートリーディング
- 26日 縁日
- 27日 アートプログラム

## 今月の絵本

うみざざざ

わにわにのおでかけ

作：ひがし なおこ

文：小風 さち

絵：きうち たつろう

絵：山口 マオ

くもん出版

福音館書店

発行元 横浜市泉区中田東1-41-3  
社会福祉法人真生会  
白百合ベビーホーム  
責任者 院長 青木 紀久代  
電話 045-803-0398